

学校教育の充実	
【提案・要望先】財務省、文部科学省	
提案・要望事項	
<p>1. 英語教育改革総合プラン事業の継続</p> <p>新学習指導要領に基づき、平成23年度より全面実施される外国語活動の円滑な導入のため、指導水準を確保する教材（英語ノート）配布等必要な事業を継続されたい。また、21年度より2～3年の予定で、「英語ノート」の活用方法、英語教育改善のための一貫教育システム構築についての委託を各学校に行っている状況であり、県内での外国語指導方法等の普及に重要な役割を担っている。</p> <p>2. 理科支援員等配置事業の継続</p> <p>次代を担う子どもたちに科学のおもしろさを実感させるためには、観察・実験を通じた体験が不可欠である。理科支援員は、そうした知識・技能が高い有能な外部人材であり、教員の資質向上とともに負担軽減としても、本事業は有益である。</p> <p>3. 道徳教育総合支援事業の継続</p> <p>全国学力・学習状況調査の結果から、子どもの社会性や規範意識の低さが明らかになっており、大きな課題である。学校、地域の実情に応じた道徳教育を充実させるためにも、様々な事例収集と情報提供を行うことが必要である。</p> <p>4. 農山漁村におけるふるさと生活体験推進校事業の継続</p> <p>学校教育の中で、児童の社会性や豊かな人間性を育むためには、学習指導要領にも示されているように、自然の中での長期宿泊体験活動は必要である。推進校において様々な体験活動を全国的な規模で行い、より効率的且つ教育効果の高い教育モデルを確立することにより、本県における宿泊体験活動の普及を促進する。</p>	

現状と問題点

1－1 外国語活動における教材の効果的な活用及び評価の在り方等に関する実践研究事業
【21年度研究指定校】
大和高田市立高田小学校、天理市立二階堂小学校、五條市立阪合部小学校
平群町立平群南小学校、十津川村立平谷小学校

1－2 英語教育改善のための調査研究事業
【21年度研究指定校】
奈良市立都跡小学校・都跡中学校
県立生駒高等学校

2 理科支援員等配置事業の実施状況

年 度	配置学校数	配置学級数	配置支援員数	特別講師派遣数	理科が好きと答えた児童の割合（％）
平成19年度	25	123	61	17	64
平成20年度	29	125	72	45	76
平成21年度	43	160	82	40	－

3 道徳教育実践研究事業
【21年度研究指定校】
香芝市立志都美小学校、上牧町立上牧第二小学校、河合町立河合第三小学校
大和郡山市立郡山東中学校、県立登美ヶ丘高等学校

4 農山漁村におけるふるさと生活体験推進校
【21年度推進校】
御所市立大正小学校、御所市立秋津小学校、
宇陀市立守道小学校、高取町立たかむち小学校

十津川村神納川地区で3泊4日の長期宿泊体験を行った大正小学校
（稲かけ作業）

【県担当部局】 教育委員会事務局学校教育課、県立教育研究所